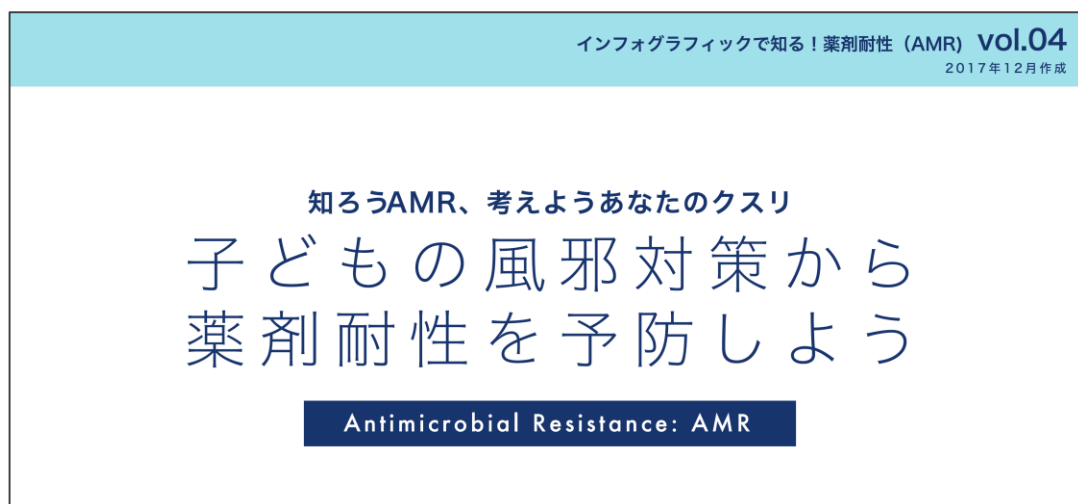


知ろうAMR、考えようあなたのクスリ 第4弾
インフォグラフィックで知る薬剤耐性(AMR)Vol. 4
「子どもの風邪対策から薬剤耐性を予防しよう」を
12月20日(水)より公開

<http://amr.ncgm.go.jp/infographics/>

国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター(厚生労働省委託事業)は、国際的に脅威となっている薬剤耐性(AMR)対策の普及啓発活動の一環として、国民の皆様によりわかりやすく理解を深めていただくために、インフォグラフィックによる「知ろうAMR、考えようあなたのクスリ」をシリーズ化して公開しています。

その第4弾として、“子どもの風邪対策から薬剤耐性を予防しよう”を、2017年12月20日(水)より薬剤耐性AMR情報サイト<http://amr.ncgm.go.jp/>で公開いたします。



薬剤耐性(AMR)とは、病原体が変化して抗菌薬・抗生物質が効かなくなる問題です。このまま対策を行わないと、2050年には1,000万人(3秒に1人※)の死亡が想定され、現在のがんによる死亡者数を上回ることが指摘されています。

※英国薬剤耐性に関するレビュー委員会(オニール委員会)第一次報告(2014年12月)

今回は、「子どもの風邪対策から薬剤耐性を予防しよう」をテーマに、「子どもが風邪をよくひく主な理由」や「子どもへの抗菌薬の処方状況」「抗菌薬の使い方」などについてインフォグラフィックにまとめました。

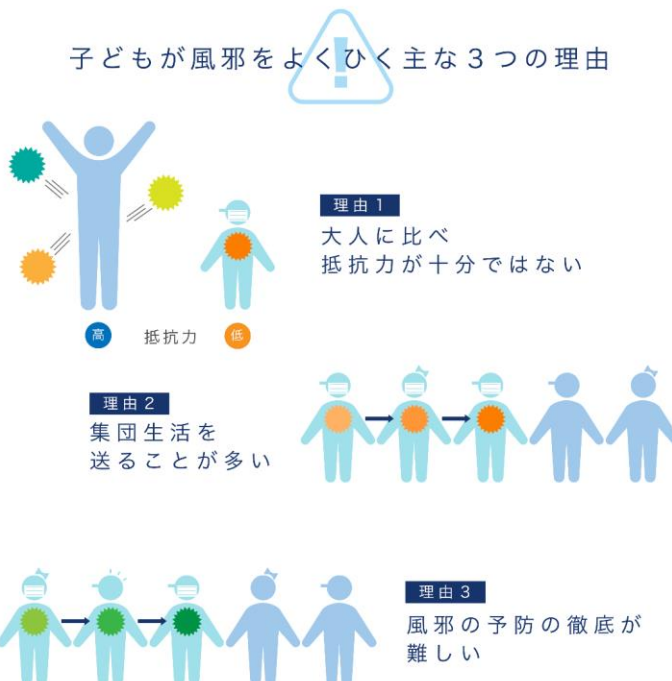
<http://amr.ncgm.go.jp/infographics/>

＜本件に関する報道関係者からのお問合せ先＞

AMR臨床リファレンスセンター広報事務局 担当：小石、佐藤、木下
TEL：03-6427-1627 FAX：03-6730-9713 E-Mail: info@kartz.co.jp

子どもが風邪をよくひくのはなぜ？

子どもが風邪をよくひく主な3つの理由



成長とともに抵抗力を獲得

小さな子どもが風邪をよくひくのは感染症に対する抵抗力が弱いからです。
成長とともに成人並みの抵抗力を得ていきます。

こんなときは
急いで受診を！



<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

AMR臨床リファレンスセンター広報事務局 担当：小石、佐藤、木下
TEL：03-6427-1627 FAX：03-6730-9713 E-Mail: info@kartz.co.jp

子どもは大人より抗菌薬を投与する機会が多い

子どもは多くの抗菌薬が処方されている

全国の抗菌薬総投与量（年齢別人口あたりで集計）



全国の医療機関からの診療報酬明細書に基づく集計（2013年）
Yamasaki D, Tanabe M, Muraki Y, et. al. Infection in press

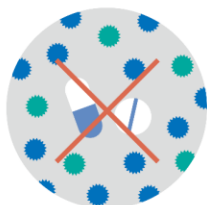
全国の年代別における抗菌薬総投与量を見ると、70歳以上を除いた全年代中0～9歳の子どもが一番多いことがわかっています。子どもは風邪などで医療機関を受診する機会が多く、そのために抗菌薬を処方される機会が多くなるものと思われます。子どもは1回に飲む薬の量が少なく、高齢者以上に抗菌薬を飲む機会はかなり多いと考えられます。

<本件に関する報道関係者からのお問合せ先>

AMR臨床リファレンスセンター広報事務局 担当：小石、佐藤、木下
TEL：03-6427-1627 FAX：03-6730-9713 E-Mail: info@kartz.co.jp

薬剤耐性の予防には抗菌薬を正しく服用することが大切です

抗菌薬は使い方が大事



抗菌薬はウイルスによる風邪や
インフルエンザには効かない



下痢・嘔吐・発疹などの
副作用をおこすこともある

抗菌薬の不適切な使用は薬剤耐性菌の
増加につながります



抗菌薬（抗生物質、抗生剤とも呼ばれます）は
細菌感染症を治療するための薬剤です。
抗菌薬に対し抵抗力を持ち、薬が効かなくなった
細菌を薬剤耐性菌と呼び、国内外で対策が
始まっています。

正しい服用で薬剤耐性の予防を



抗菌薬は医師の
処方箋が必要です



抗菌薬は医師の
指示通り飲みます



抗菌薬をとって置いて
あとで飲まない



抗菌薬を
あげない、もらわない



困ったこと、わからないことは
医師や薬剤師に相談しよう



感染症を予防しよう
ワクチン接種も大切です

「かしこく治して、明日につなぐ」

～ 抗菌薬を上手に使用して AMR 対策 ～



抗菌薬について正しく理解をし、抗菌薬を服用する際は、医師や薬剤師の指示を守って、適切な量を適切な期間、服用しましょう。

＜本件に関する報道関係者からのお問合せ先＞

AMR臨床リファレンスセンター広報事務局

TEL：03-6427-1627 FAX：03-6730-9713

担当：小石、佐藤、木下

E-Mail: info@kartz.co.jp